

自己評価結果報告書

令和2年3月27日

島根県健康福祉部障がい福祉課長 様

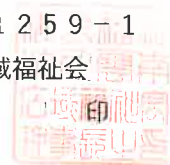
(療育支援グループ)

FAX：0852-22-6687

所在地 雲南市木次町下熊谷1259-1

法人名 社会福祉法人雲南広域福祉会

代表者名 山本 重明



1. 事業所の状況

事業所の名称	児童発達支援事業所さくら教室	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス
事業所番号		
所在地	〒 島根県加茂町三代691番地1	
連絡先	TEL	0854-49-9797
	FAX	0854-49-9798
	E-mail	

2. 取組時期

①保護者による評価	令和2年 2月15日
②職員による評価	令和2年 2月15日
③事業所全体による評価	令和2年 2月15日

3. 公表結果

公表日	令和2年3月30日
公表の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ (URL)
	<input type="checkbox"/> 会報等 (保護者へのお知らせ)
	<input type="checkbox"/> その他 ()

担当者	谷岡有康
連絡先 (TEL)	0854-49-9797

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表 令和2年 3月30日

事業所名 児童発達支援事業所 さくら教室(児童発達支援事業)

	チェック項目	工夫している点	現状、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	活動内容、人数、利用児の状況に応じ、部屋を変えたり、パーティションで仕切るなどの対応をしています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	法令を遵守しています。必要に応じ、臨時職員を配置します。	職員数は足りていますが、個々の発達に合わせて個別療育を行う日もあるので、足りないと感じることが時にあります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	構造化、視覚支援の手法を用い、目的の明確化をしています。 本人、保護者とも現状に対する配慮等を相談しながら行っています。	施設上の問題(段差、仕切りが取れないなど)はありますが、絵カードなどの視覚支援を並行して行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	壁面構成等過度な刺激を無くして課題に集中しやすい環境づくりをしています。 一部タイルカーペットを貼ることで子どもたちが居心地の良い空間となっています。	建物が古く、見た感じはあまり良いとは思えません。LED照明など輝度の高い照明で明るくすると良と思われそうです。玄関が薄暗い感じがします。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	日々の記録を振り返る機会を多く持ち、常にスタッフでの情報共有を行っています。かかり方や支援の方向性の確認を行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	皆さんからご意見をいただいたものを今後の業務に生かしていきます。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		ホームページに公開してはいるが、アンケートにも記載されていたが、周知の徹底がなされていない部分もあり、結果を公開したことを再度事業所の通信に載せていくと良いと考えます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		現在行われていませんので、行かぬの検討をすることが必要だと考えています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	関係する機関の方々に相談し助言いただいています。 人権研修等、法人全体で研修の機会を作っています。	外部研修についても、今後出来る範囲の中、自主的に参加すると良いと考えます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	定期的に行ったアセスメントに基づき、保護者の意向、お子さんの状況を踏まえ、長期、短期の目標を立てています。	新規の面談時期が遅くなってしまい、支援計画がずれることがありました。保護者ニーズに偏りすぎないよう、幼児期の対象児でも、良い意味での自己主張、本人本位の意志決定を尊重し、安心した生活が送れるような計画を立てていくと良いと考えます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	適宜、必要に応じて発達検査を行っています。	個々の利用児の特性により、標準化したものを利用していないこともあるのが現状です。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		職員間で話し合い現状や今後の課題を踏まえ、発達に合わせた支援に必要な項目を設定しています。 出来るだけ具体的に文章にして、評価記録として残り、保護者には丁寧に伝えていきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか		計画書に基づいたプログラムを計画しています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	スタッフ内で話し合い、利用される季節や時間、そのお子さんの状況により、活動内容を吟味して、対象となるお子さんが楽しんで参加できるように活動を準備しています。	療育スタッフで計画し、個々の発達に合わせた課題を計画しています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	選択肢をできるだけ多くしつつ、利用されるお子さんの様子に応じ、無理なく楽しめる活動を選ぶよう意識しています。	療育スタッフで計画し、個々の発達に合わせた課題を計画しています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか		段階的に見直しを立て個別指導→集団指導へと移行をしています。常にスタッフと相談しながら行っています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	支援内容や役割の分担を朝礼によって確認するように努めています。	朝礼時以外でも、細かく確認するようにしています。当日、お子さんの様子、体調によって変更することもあるが、常にスタッフで動きの確認、役割分担を行っています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	振り返りを行いながら記録記入に努めています。個別対応をした場合、常に他のスタッフに情報を伝え、誰でも対応ができるようにしています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	記録写真等も残り次回につなげています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		半年に一回、モニタリングを行い、療育スタッフで話し合い、検討をして見直している。ガイドラインの内容の確認が職員個々に必要であると考えています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	子どもの担当者が参加しています。状況が分かり、情報交換がスムーズにできています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	必要に応じ、関係機関との連携をとっています。(電話や会議)	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		現在、医療支援体制がなく受け入れ態勢は整っていませんが、体制整備の必要性が出てくれば考えていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	必要性に応じ、移行支援会議、関係者会議等に出席し情報共有しています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	保護者の希望があった場合は参加しています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	Dr、心理スタッフ、ST、OTなど、様々な専門職の方々に学びの場を提供いただいています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		現在は行っていません。人権にもかかわることなので、配慮しながら活動していく必要があると考えます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		子ども部会などの開催があるかどうかかわからないが、是非、参加していくと良いと考えます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		ノートにお知らせ、写真などを貼り、がんばっている姿、今後の支援の方向性の確認等を行っています。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		毎年、ペアレントトレーニングを発達障害者支援センターの支援を受け行っています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		保護者は一度聞いても内容が把握できないこともあります。複雑なところもあるので、具体的に伝える工夫が必要だと考えます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		面談を行い説明し、同意を得てから支援を行っています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	家庭訪問をしたり、来所してもらい、面談等を行うことがほとんどです。担当者だけの考えに偏らないよう療育スタッフで状況を共有しチームで支援を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	スタッフと一籍に、夏まつりや話し合いができる場面(しゃべり場)を企画、援助し保護者同士のつながりが持てる場を作っています	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		意見箱を設置していますが、近年は、保護者からの口頭での相談がほとんどです。相談についてはできる限り早めに対応するようにしています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		広報紙(さくら通信)を定期的に発行し情報発信を行っています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか		広報誌などに写真を掲載するときは、全員の保護者から確認を行っています。実際掲載される写真を見てもらい、ご理解いただいています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		ノートやさくら通信でお伝えしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	依頼を受け、地域の祭りのため、ぼんぼりの絵を通園児が描く機会を得ました。地区の祭りの際、展示スペースにて事業説明のパネルを展示しました。	園外活動として散歩や、ブドウ狩りなどに出かけるのみになっている地域との関係なので、地域に開かれた事業運営とはいえない状況なので、今後、具体的な活動を考えていきたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	法人内でマニュアルが作成されています	避難訓練は行っているが、緊急時、防犯、感染症の対応マニュアルについては周知されずあいまいなどがあるので、改善していく必要があります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回の防災訓練を実施しています。	訓練はもっと頻繁に行うと良いと考えます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		アセスメント時に部分的に確認していますが、不十分なので今後改善していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		食物アレルギーについては、検査を依頼したり、食べられるおやつを事前に聞いています。必要に応じて、個別マニュアル作成をし、緊急時に備えると良いと考えます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		事例集はないので今後の課題です。対応は職員間で共有し適切に行っていると考えています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	研修会に参加し、報告研修等で、適切な対応をするための情報共有を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	法人内でマニュアルを作成しています。支援計画に記載しています。	

保護者等からの児童発達支援評価の集計結果(公表)

記入年月日:令和2年2月15日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていると思えますか	17	3		1	活動の様子を見たことが無いので(見学、体験以外の本利用で)少人数なので、活動のスペースは十分だと思います。利用人数にもよりますが、ちょうどよいスペースがとられていると思えます。
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思われませんか	16	3		2	先生方の数は十分だと思います。手厚く見てくださっていると思えます。出張が多いのか?担当以外の先生になることが多い。
	3	生活空間が、本人にわかりやすく構造化された環境※iになっており、また特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思われませんか	14	4		3	基本的に保護者が教室に入ることがないのでよくわからない。写真や絵表示等が室内にあり、子供たちが過ごしやすいうように配慮された環境になっていると思えます。活動で使わないものには目隠しがしてあったり、絵カードを使ってわかりやすくしてあったりと、シンプルにわかりやすい部屋になっていると思えます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていると思われませんか	17	2		2	基本的に保護者が教室に入ることがないのでよくわからない。いつも清潔で室内も子供の興味をひく環境でけがが無いようにも配慮されている空間だと思います。
適切な 支援の 提供	5	お子さんと保護者の思いや課題を取り入れ、それを活かして、児童発達支援計画※iiが作成されていると思われませんか	21				子どもの今の姿から無理のない到達目標、具体的な支援内容になっていると思えます。おもちゃが少し古い(壊れかけているものがある)
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思われませんか	18	3		1	支援計画に沿って手厚い支援が行われています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思われませんか	20	1			支援計画に沿って手厚い支援が行われています。
	8	活動プログラム※iiiをお子さんの状況に合わせて変える工夫がされていると思われませんか	21				先生方が子どもの状況を見て、活動内容を色々工夫して下さっていると思えます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、さくら教室通園児以外のお子さんとの活動する機会があると思われませんか	8	4	1	8	現在、こども園にも通っているため、さくら教室通園児以外の交流はあります。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされていると思われませんか	19	2			丁寧に説明して下さっていると思えます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされていると思われませんか	18	2		1	

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング※iv等）が行われていると思われませんか	15	3		3	
	13	日頃からお子さんの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思われませんか	19	2			先生方と共通理解が出来ていると思います。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思われませんか	18	2	1		定期的に面談してくださったり、連絡帳等で育児のアドバイスをいただいています。相談事があると時間を取っていただき、話を聞いていただけます。とてもありがたいです。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていると思われませんか	12	2		7	なかなか都合により保護者会に参加できていませんが、定期的開催されていると思います。生活するための仕事で…忙しく父母の会など参加がなかなかできない。
	16	お子さんや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、お子さんや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていると思われませんか	15	4		2	こちらから相談させていただいた事はとても早く対応して下さっていると思います。
	17	お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思われませんか	18	3			ご指導ありがたいのですが、時にこちらの意志や感情を汲んで欲しいことがあります。送迎時や連絡帳等で子どもの様子を細かく伝えて下さっていると思います。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をお子さんや保護者に対して発信されていると思われませんか	16	1		4	会報でさくら教室の活動の様子や座談会の予定等、知ることが出来ています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思われませんか	17	1		3	写真掲載の際には、保護者に確認して下さる等、十分に配慮されていると思います。
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明され、その発生を想定した訓練が実施されていると思われませんか	7		1	11
21		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていると思われませんか	6	1	1	12	訓練を実際に見たことはないですが、定期的に行われていると思います。
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしておられますか	14	6		1	先生方やお友達と一緒に過ごすことをとても楽しみにしています。ファミサポの送迎のおかげで、なんとか通所できている。
	23	事業所の支援に満足しておられますか	16	4		1	先生方の細やかなご支援にいつも感謝しています。子どものさくら教室での成長をとても感じています。月に1、2回、長時間の対応があっても良いのかな？と思っている。

その他 保護者の意見

事業全体を通して

家ではできない「苦手なこと」を楽しみながら「苦手ではない」「やってみたらできる」と本人が思えるように支援していただいていると感じます。

持ち帰る活動の作品を見て、「こんなことできるんだな」と毎回驚きます。

本人、嫌がることなく、毎週、楽しく通所出来ました。

先生のアドバイスはとても役立ちました。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

令和2年 3月30日

事業所名 児童発達支援事業所さくら教室(放課後等デイサービス事業)

	チェック項目	工夫している点	現状、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	一人一人に自分の着席する机を配置し、限られた空間の中で自分のスペースを確保できるようにしています。近隣施設内の体育館、プールなどを利用し、事業所所有の建物以外での活動も積極的に取り入れています。	狭いので、個々のスペースを確保できず、集団に苦手さのある児童には職員が個別に対応を必要とする場合があります。
	2 職員の配置数は適切であるか	法令を遵守し、必要に応じ臨時職員を配置しています。	十分にスタッフを配置しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		段差などは極力作らないよう備品配置にも気を配っています。施設上の問題も多くあるので改善していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		職員の中で、この職場でのPDCAサイクルのさらなる理解のため勉強が必要だと考えます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		実施した内容、保護者の声をよく見聞きしながら、サービス改善に取り組んでいきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		ホームページで公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	実際、お子さんたちと活動を共にしながら、状況に応じた支援について日々資質向上に努めています。関係機関からの専門スタッフからも支援方法についてアドバイスをいただいています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	現状を把握しながら、定期的に計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	必要に応じ発達検査を行っています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか		長期の休暇時には、全職員で計画、療育スタッフが手伝い支援しています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	成長し変わっていくお子さんの興味を知りながら、支援メニュー、選択肢を多く持てるように情報収集をしています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	日々の状況が進むお子さんたちなので、それぞれのお子さんの状況に応じ、課題を決めるよう努力しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		その日の活動は適宜行っていますが、細かい計画までは行っていない現状です。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	夏休み前から個別スケジュールボードを設置、スタッフも目で見てわかりやすいようにしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		問題、課題があるときには話し合いますが、日常の振り返りについての共有は乏しいと感じる場合があります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		長期休暇の時にはいろいろな活動が行えている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		送迎時の対応改善について関係者との連携がかなりスムーズになったと思われる。窓口となる職員が徹底したことで安全に生活が出来ていると思われる。	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		担当職員が参加し、情報を得て支援に生かしている。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	必要に応じて行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		児童発達支援事業から、放課後等デイサービス事業への契約移行が大半なので、必要に応じて行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	情報提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	発達障害者支援センターより、必要に応じ助言をいただいています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		直接的な交流はなされていないが、今後、必要に応じ検討していきます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		地域での子ども部会の開催があれば、参加することが課題です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		ノートや、迎えの時間を利用して情報交換をしています。支援計画の内容確認の時に様子を確認しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		毎年、発達障害者支援センターウイッシュの協力を得ながらペアレントトレーニングを行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		契約時等必要に応じ行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		保護者以外の送迎だと行っていないこともあります。ノート以外で定期的にあると良いと考えます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		保護者会への協力を行っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		苦情を受け付けるボックスはありますが、積極的に活用されることが望まれます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		広報紙を定期的に作成し保護者に情報発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか		広報紙への写真掲載の際には事前に保護者に確認を得る等の配慮をしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		必要に応じ、視覚支援を行い、意図が伝わりやすい工夫をしています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		行っていないが、人権的な配慮も必要なことなので、地域に開かれた事業運営の内容については慎重に協議したうえで実行に移すことが必要だと考えます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		アンケートでも周知しきれていない現状があるので今後の工夫が必要であると考えます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	年2回避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	研修を定期的に法人内で行ったり、外部研修に出向いたりしています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	記載しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	今後対応していきます。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	話し合いの中では共有しているが、事例集を作成していないので、今後作成します。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業評価の集計結果(公表)

記入年月日:令和2年2月15日

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	そう思わない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	1	お子さんの活動スペースが十分にあると思いますか	6	5		1	子供が活動している様子を見たことが無いので、広いかわかからない。人数的にも。
	2	職員の数や専門性が適切だと思えますか	8	1	1	1	いつも配慮していただいてありがとうございます。職員の専門性を知らない。何の資格を持っているか不明。
	3	事業所の設備について、スロープや手すりの設置など、施設を使いやすくする配慮が適切になされていると思えますか	6	2	1	3	
適切な支援の提供	4	お子さんや保護者の思いや課題を取り入れ、それを活かし、放課後等デイサービス計画(児童発達支援計画i)が作成されていると思えますか	12				放デイでの過ごし方、夏休みなどもイベントをたくさん作っていただき、楽しく良いペースで過ごさせていると思います。
	5	活動プログラムiiをお子さんの状況に合わせて変える工夫がなされていると思えますか	11	1			
	6	放課後児童クラブ、児童館との交流など、さくら教室以外の子どもと活動する機会が作られていると思えますか	2	2		8	交流していないか不明。
保護者への説明等	7	支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていると思えますか	10			2	
	8	日頃からお子さんの状況を保護者と職員が伝え合いながら、子どもの育ちの状況や課題について共通理解ができていると思えますか	12				そのように思います。
	9	育児に関する助言、相談等の支援を必要に応じ受けられる状況であると思えますか	10	1	1		そのように思います。
	10	保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていると思えますか	10	2			
	11	お子さんや保護者からの苦情への対応体制が整備され、それが、お子さん、保護者に周知・説明され、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応されていると思えますか	7			5	
	12	事業所職員と、お子さん、保護者との意思疎通、情報伝達のための配慮がなされていると思えますか	10	1	1		
	13	事業所は、会報、ホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報、業務に関する自己評価の結果を、子どもや保護者に対して十分に発信していると思えますか	8	2		2	
非常時等の対応	14	事業所は個人情報に十分に注意していると思えますか	11			1	
	15	事業所の緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの内容について、保護者に十分、周知・説明されていると思えますか	4	4		4	
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていると思えますか	4	2		6	
	17	お子さんは通所を楽しみにしていると思えますか	11	1			料理やお出かけを楽しみにしています。
	18	保護者は事業所の支援に対し満足しておられますか	11	1			